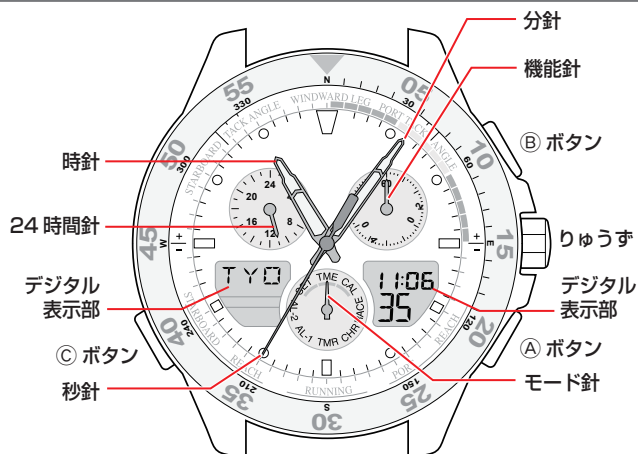


- ・この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- ・仕様 / 操作の詳細は、Webマニュアルをご参照ください。 <https://citizen.jp/support/guide/html/c660/c660.html>

各部の名称



- ・お買い上げいただいた時計は、イラストと異なる場合があります。



時計の表示を見やすくする

時針と分針を一時的に動かして、下に隠れたデジタル表示や小さな針を見やすくします。

- ・時針や分針の移動中や基準位置の修正中は、動きません。

- ③ ボタンを2秒間以上押す
時針と分針が動き始めます。
- 表示が見やすくなったら、③ ボタンを押す
時針と分針が止まります。
・ボタンを押さないと、12時を表示するまで針が動き続けます。
- ③ ボタンを押して、終了する
時針と分針が、時刻表示に戻ります。

モードを切り替える

この時計の各機能は、モードを切り替えて使用します。
現在の時計のモードは、モード針の表示で確認します。

- りゅうずの位置を①にする
- りゅうずを回して、モードを切り替える
デジタル表示が各機能の表示に切り替わります。
・モード針は、表示の中央に合合わせます。
・各機能を使い終わったら、モードを[TME]に戻します。

時刻を表示する地域を切り替える

デジタル表示部の時刻を、世界30地域とUTC(協定世界時)から選んで表示させることができます。

- りゅうずの位置を①にする
- りゅうずを回して、モードを[TME]にする
- ① ボタンまたは② ボタンを押して、地域表示を切り替える
 - ・ボタンを押すごとに、切り替わった地域の時刻がデジタル表示部に表示されます。
 - ・ボタンを押し続けると、押し続けている間、表示が連続して切り替わります。

地域名と時差の一覧

時差	表記	地域名	時差	表記	地域名
±0	UTC	(協定世界時)	9	TYO	東京
±0	LON	ロンドン	10	SYD	シドニー
1	PAR	パリ	11	NOU	ヌーメア
1	ROM	ローマ	12	AKL	オークランド
2	CAI	カイロ	-10	HNL	ホノルル
2	IST	イスタンブール	-9	ANC	アンカレジ
3	MOW	モスクワ	-8	LAX	ロサンゼルス
3	KWI	クウェート	-7	DEN	デンバー
4	DXB	ドバイ	-6	CHI	シカゴ
5	KHI	カラチ	-6	MEX	メキシコシティ
5.5	DEL	デリー	-5	NYC	ニューヨーク
6	DAC	ダッカ	-5	YUL	モントリオール
7	BKK	バンコク	-4	CCS	カラカス
8	SIN	シンガポール	-3	RIO	リオデジャネイロ
8	HKG	香港	-3	BUE	ブエノスアイレス
8	PEK	北京			

- ・時差は、国や地域の事情により変更されることがあります。必ず、現地時刻を確認の上ご利用ください。
- ・一覧表にない地域の時刻を表示したいときは、同じ時差の地域を設定してください。

カレンダーを見る

- りゅうずの位置を①にする
- りゅうずを回して、モードを[CAL]にする
- ① ボタンまたは② ボタンを押して、地域表示を切り替える
 - ・ボタンを押すごとに、切り替わった地域のカレンダーがデジタル表示部に表示されます。
 - ・使い終わったら、モードを[TME]に戻します。

アナログ表示の時刻を入れ替える

アナログ表示(時針、分針、秒針、24時間針)の時刻も、世界30地域とUTC(協定世界時)から選んで表示させることができます。

この時計のアナログ表示の時刻は、直接地域を選んで切り替えることはできません。表示したい地域の時刻をデジタル表示部に表示させ、その後、デジタル表示部の時刻をアナログ表示の時刻と入れ替えて表示させます。

- アナログ表示の時刻の入れ替えには、時間がかかる場合があります。その間、時計の操作はできません。
- アナログ表示の時刻について、地域名を表示させることはできません。

- 1 りゅうずの位置を0にする
- 2 りゅうずを回して、モードを[TME]にする
- 3 AボタンまたはBボタンを押して、地域表示を切り替える
 - ボタンを押すごとに、切り替わった地域の時刻がデジタル表示部に表示されます。
- 4 AボタンとBボタンを同時に押す
 - ビップと確認音が鳴り、アナログ表示とデジタル表示部の時刻が切り替わりります。

時刻を合わせる

- 1 りゅうずの位置を0にする
- 2 りゅうずを回して、モードを[TME]にする
- 3 AボタンまたはBボタンを押して、地域を選ぶ
- 4 りゅうずの位置を1にする
 - デジタル表示部で、「SMT」が点滅します。
 - 「SMT」の設定については、下の「サマータイムを設定する」をご覧ください。
- 5 Bボタンをくり返し押して、合わせる対象を選ぶ
 - Bボタンを押すごとに、次のように対象が切り替わり、点滅します。
「SMT」→ 秒 → 分 → 時 → 12/24時間制 → (最初に戻る)
 - 「秒」:Aボタンを押すごとに、00秒になります。
 - 「分」「時」:りゅうずを回して合わせます。
 - 時間制:Aボタンを押すごとに、「12 H」(12時間制)と「24 H」(24時間制)が切り替わります。
- 6 りゅうずの位置を0にして、終了する

サマータイムを設定する

- 1 りゅうずの位置を0にする
 - 2 りゅうずを回して、モードを[TME]にする
 - 3 AボタンまたはBボタンを押して、サマータイムを表示させたい地域を選ぶ
 - 4 りゅうずの位置を1にする
 - デジタル表示部で、「SMT OF(OFF)」が点滅します。
 - 5 Aボタンを押す
 - Aボタンを押すごとに、「ON」と「OF(OFF)」が切り替わります。
- | | |
|---------|----------------|
| ON | サマータイムが設定されます。 |
| OF(OFF) | 標準時刻が設定されます。 |
- 6 りゅうずの位置を0にして、終了する
 - サマータイムを「ON」に設定した地域では、デジタル表示部の地域表示の下に「SMT」が表示されます。

カレンダーを合わせる

- 1 りゅうずの位置を0にする
- 2 りゅうずを回して、モードを[CAL]にする
- 3 AボタンまたはBボタンを押して、地域を選ぶ
- 4 りゅうずの位置を1にする
 - デジタル表示部で、月が点滅します。
- 5 Bボタンをくり返し押して、合わせる対象を選ぶ
 - Bボタンを押すごとに、次のようにカレンダーあわせの対象が切り替わり、点滅します。
月 → 日 → 年 → (最初に戻る)
 - りゅうずを回して、それぞれ合わせます。
 - 曜は、設定された年月日から自動で表示されます。
- 6 りゅうずの位置を0にして、終了する
 - 使い終わったら、モードを[TME]に戻します。

表示する地域を設定する

時刻、カレンダー、アラームなどで地域を選ぶときに、当面必要のない地域名をスキップさせることができます。

- 1 りゅうずの位置を0にする
- 2 りゅうずを回して、モードを[SET]にする
 - デジタル表示部に「SET」または「OFF」が表示されます。
- 3 りゅうずの位置を1にする
 - 「SET」または「OFF」が点滅します。
- 4 りゅうずを回して、スキップしたい地域名を選ぶ
- 5 Aボタンを押す
 - ボタンを押すごとに、「SET」/「OFF」が切り替わります。

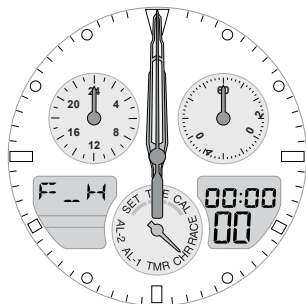
SET	地域名は表示されます。
OFF	地域名はスキップされ、表示されません。

- 6 りゅうずの位置を0にする
- 7 りゅうずを回しモードを[TME]にして、終了する



基準位置を確認する

- 1 りゅうずの位置を $\boxed{0}$ にする
- 2 りゅうずを回して、モードを[CHR]にする
- 3 りゅうずの位置を $\boxed{1}$ にする
各針が現在の基準位置に移動します。
デジタル表示部に「F_H」と表示されます。
- 4 基準位置を確認する
正しい基準位置は次のとおりです。
 - ・ 時針: 12時
 - ・ 秒針: 0秒(12時位置)
 - ・ 機能針: 60(12時位置)
 - ・ 分針、24時間針は、時針と連動します。



基準位置がずれているときは、次の「基準位置を修正する」の手順4に進みます。

- 5 りゅうずの位置を $\boxed{0}$ にする
- 6 りゅうずを回しモードを[TME]にして、終了する

基準位置を修正する

- 1 りゅうずの位置を $\boxed{0}$ にする
- 2 りゅうずを回して、モードを[CHR]にする
- 3 りゅうずの位置を $\boxed{1}$ にする
各針が現在の基準位置に移動します。
デジタル表示部に「F_H」と表示されます。
- 4 りゅうずを時計回りに回して、機能針の基準位置を正しく修正する
- 5 ⑧ボタンを押す
デジタル表示部に「HR」と表示され、時針、分針、24時間針の修正ができるようになります。
・ 時針、分針、24時間針は、連動します。
- 6 りゅうずを時計回りに回して、時針、分針、24時間針の基準位置を正しく修正する
- 7 ⑧ボタンを押す
デジタル表示部に「SEC」と表示され、秒針の修正ができるようになります。
- 8 りゅうずを時計回りに回して、秒針の基準位置を正しく修正する
・ ⑧ボタンを押すと、手順4に戻り再び機能針の修正ができるようになります。
- 9 りゅうずの位置を $\boxed{0}$ にする
- 10 りゅうずを回しモードを[TME]にして、終了する
・ 基準位置の修正が終わったら、時刻・カレンダー合わせを行ってください。

オールリセットする

- 1 りゅうずの位置を $\boxed{0}$ にする
- 2 りゅうずを回して、モードを[CHR]にする
- 3 りゅうずの位置を $\boxed{1}$ にする
各針が現在の基準位置に移動します。すべての針が止まるまで、操作しないでください。
- 4 ④ボタン、⑧ボタン、⑨ボタンを同時に押す
ボタンから手を離すと、デジタル表示部が全点灯します。
- 5 りゅうずの位置を $\boxed{0}$ にして、終了する
全点灯が解除されます。

オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、基準位置の修正と時刻/カレンダー合わせを行ってください。